

特集 少年球児の熱い戦い!

第16回JA共済学童野球大会～JAあきた白神地区予選大会～



全県大会を目指し

選手がハツラツとプレー

JA共済の地域貢献活動の一環として、学童の体力向上と健全なスポーツ精神の育成を図ろうと、JAあきた白神とJA共済は「第16回JA学童野球大会あきた白神地区予選大会」を7月28日、能代市二ツ井町の二ツ井球場で開きました。

今大会には、向能代ファイターズ、常南野球クラブ、二ツ井野球スポーツ少年団、浅内ブルーサンダーの4チームが参加。選手宣誓では、向能代ファイターズの工藤晃斗^{あきと}主将が「家族や地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、日ごろの練習の成果を発揮し、野球というスポーツを楽しむことを誓います」と元気に宣言。選手たちはベンチやスタンドからの応援を背に、はつらつとしたプレーで熱戦を繰り広げました。

第一試合は、向能代ファイターズと常南野球クラブが対戦。初回に向能代が先制点を取るとその後も打線が爆発。常南も投手を交代するなどしましたが、その勢いを抑えることができず、19対0で向能代が勝利しました。

第二試合は、二ツ井野球スポーツ少年団と浅内ブルーサンダーが対戦。どちらのチームも選手が10人と少ないながらも、全員で声を出し元気なプレーを見せてくれました。試合は、両投手好調な立ち上がりでしたが、2回に二ツ井がヒットや

四球などもあり4点を先制。2回以降毎回得点で11点を取りました。浅内も3回に1点、4回に3点と反撃を試みましたがあと一歩及ばず、11対4で二ツ井が勝利しました。

決勝戦は向能代と二ツ井が対戦。どちらも打ち勝って決勝まで進んできており、打撃戦が予想されました。この試合でも向能代の打線が活発で、本塁打も出るなど5回までで9点を取りました。一方の二ツ井も、二塁打や三塁打でチャンスを作りますがあと1本が出ず、9対1で向能代が優勝しました。

優勝した向能代ファイターズは9月8日、9日に秋田市雄和の秋田県営野球場を主会場に行われる「第16回JA学童野球大会」にあきた白神地区代表として出場します。全県での活躍を期待しています。



選手宣誓をする工藤主将

